



第78回

黒潮に 恵み届ける 森づくり

全国植樹祭 こうち 2028

基本計画（中間案） ＜概要版＞



2026.7.17時点



高知県
Kochi Prefecture

第1章	開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第2章	式典行事計画・・・・・・・・・・・・	3
第3章	植樹行事計画・・・・・・・・・・・・	4
第4章	会場整備計画・・・・・・・・・・・・	5
第5章	運営計画・・・・・・・・・・・・	6
第6章	宿泊・輸送計画・・・・・・・・・・・・	8
第7章	記念事業・関連事業計画・・・・・・・・	9
第8章	広報・協賛計画・・・・・・・・・・・・	10

高知県における全国植樹祭の開催状況

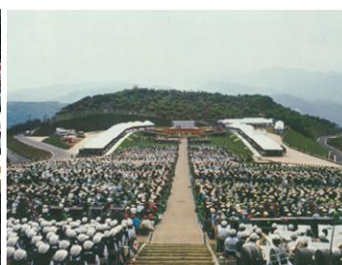
昭和53年（1978年）5月21日、現在の香美市土佐山田町にある県立甫喜ヶ峰森林公園において、天皇陛下をお迎えし、「防災も緑できずくふるさとづくり」を大会テーマに、第29回全国植樹祭を開催しました。

当日は、天候にも恵まれた中、天皇陛下がスギ2本、ヤマモモ1本をお手植えになるとともに、ヤナセスギとトサミズキの種子をお手播きになられました。

また、当日は、参加者により、マツ、スギ、ヒノキ等が植樹されました。



天皇陛下によるお手植え・お手播き



式典会場
(県立甫喜ヶ峰森林公園)



招待者による
記念植樹

項 目	内 容	
開催理念	① 災害や地球温暖化の防止に重要な役割を果たすとともに、里・川・海を潤し、私たちの暮らしを支える森林を次代へ引き継ぐよう、街や山村に住む一人ひとりが自然と共生しながら森林の役割を理解し守る行動を促していきます。 ② 森林資源の循環利用が進んで脱炭素社会の実現に貢献していくよう、森林整備と再造林をその担い手の確保とともに推進していきます。	
基本方針	① 全国植樹祭の開催を契機として、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用の意義と木の良さを普及啓発し、子どもから大人までの幅広い世代の方たちによる森林保全や緑化活動への参加と木材利用につなげる大会とします。また、「再造林推進プラン」の取組を着実に推進していきます。 ② 高知県の豊かな自然と歴史、文化、食の魅力を全国に向けて発信するとともに、全国植樹祭に参加される方々をおもてなしの心でお迎えし、「元気で豊かな、そしてあったかい高知県」を実感いただける大会となるよう努めます。	
大会テーマ	黒潮に 恵み届ける 森づくり	
シンボルマーク・大会ポスター原画	 シンボルマーク	今後公募 令和9年1月 決定予定 大会ポスター原画
開催時期	令和10年（2028年）春季	
開催規模	約3,300人（中央・県外招待者750人、県内招待者1,050人、実施本部員・出演者等1,500人）	
開催会場	サテライト会場【西部】 梶原町役場  サテライト会場【中部】 イオンモール高知  サテライト会場【東部】 安芸市役所  式典会場 春野総合運動公園体育館   ※当日、春野総合運動公園内で植樹・緑化行事を予定。 ※大会前年度に県内6ヵ所で地域植樹行事を予定。	

参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の植樹祭とします。

■ 式典進行プログラム

調整中

時 間	区 分	項 目	進行内容
		開催市長あいさつ	高知市長
45分 程度	プロローグ	プロローグアトラクション	○参加者を歓迎する気持ちを表現 ○高知県の豊かな自然や文化・歴史、 森林・林業・木材産業の紹介
		記念式典の御案内	
60分 程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌独唱	
		主催者あいさつ	大会会長（衆議院議長）、高知県知事
		天皇陛下のおことば	
		表彰	緑化功労者などへの表彰
		苗木の贈呈	緑の少年団から、農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者による植樹
		大会テーマの表現	アトラクションにより大会テーマを表現
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	高知県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
20分 程度	エピローグ	エピローグアトラクション	参加者を歓送し、今後につながるメッセージを全国に発信

将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種を選定します。

天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。



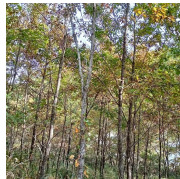
天皇陛下お手植え
(第74回全国植樹祭岡山大会)



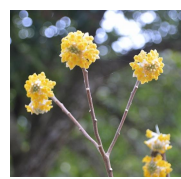
皇后陛下お手播き
(第74回全国植樹祭岡山大会)

■ お手植え計画

・ 天皇陛下お手植え樹種（3種）

スギ (魚梁瀬(やなせ)杉)	クヌギ	ウバメガシ
		
高知県の県木	高知県の里山林を構成する代表的な樹種	高知県が生産量日本一である備長炭の原料

・ 皇后陛下お手植え樹種（3種）

ヒノキ（少花粉）	ヤマモモ	ミツマタ
		
高知県の林業における主要樹種	高知県の県花	土佐和紙の原材料

■ お手播き計画

・ 天皇陛下お手播き樹種（2種）

ヒノキ（少花粉）	ビロードムラサキ
	
高知県の林業における主要樹種	牧野富太郎博士命名の「土佐の誇り」 高知県立牧野植物園提供

・ 皇后陛下お手播き樹種（2種）

スギ（少花粉）	トサミズキ
	
高知県の林業における主要樹種	名前に「トサ」を冠する高知県の固有種・高知市の花 高知県立牧野植物園提供

■ 代表者記念植樹計画

- ・ 特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、特別招待者席前で記念植樹を行います。

■ 招待者記念植樹・緑化行事計画

- ・ 春野総合運動公園内（中央貯水池北側敷地）において、一部の招待者が記念植樹を行います。
- ・ その他の招待者は、苗木を県内各地域に見立てたエリアに配置するプログラムに参加し、高知市から県内全域へ緑が広がる様子を象徴的に表します。全国植樹祭終了後には、苗木を県内各地域へ配布し、それぞれの地域での緑化活動につなげていきます。

調整中

招待者記念植樹・緑化行事の樹種

アコウ、アラカシ、イロハモミジ、ウバメガシ、エゴノキ、エノキ、キシツツジ、クスノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ、サカキ、シキミ、シャリンバイ、スギ、スダジイ、トサミズキ、トベラ、ヒノキ、ビロードムラサキ、ミツマタ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ヤマモモ

■ 地域植樹計画

- ・ 令和9年度（2027年度）に県民参加による植樹（地域植樹）を県内6カ所（安芸市東山森林公園、高知県立南喜ヶ峰森林公園、本山町帰全山公園、梶原町町有林、黒潮町入野松原。その他1箇所調整中。）で行います。

■ 施設配置計画

会場は、式典会場・本部エリア、植樹会場、緑化行事会場、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。



■ 主要施設計画

調整中

項 目	内 容
ご ざ い 御座所	御座所は、大会の開催理念や基本方針を表現し、「高知らしさ」が感じられるデザインとします。  第74回全国植樹祭（岡山大会）
会場内工作物	- ベンチやプランターカバー等の木製品には、原則として県産木材を使用し、安全性、経済性、周囲の景観及び利用後の活用に配慮したものにします。   第74回全国植樹祭（岡山大会） 第75回全国植樹祭（埼玉大会） （大阪・関西万博「大屋根リング」材の再利用） - 大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」に使用された木材の約 4 割が本県産であることから、万博協会から、大屋根リング解体後のCLTパネル及び柱を無償で譲り受け、木製のモニュメント等に活用することで、森林資源の循環利用と県内の林業・木材産業の魅力を全国に発信します。

■ 案内・誘導計画

調整中

- 招待者が安全かつ円滑に移動できるよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意します。また、ピクトサイン（絵文字）等を使用します。
- 案内サインには、県産木材のほか、環境に配慮した資材の使用に努めます。

■ 飾花計画

調整中

- 県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。

全国からの招待者を高知県らしい「おもてなしの心」でお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場となるよう運営します。

■ 招待者行動計画

調整中

時間	全体進行	①中央特別招待者 30人	②特別招待者		③一般招待者	
			県外 220人	県内 330人	県外 500人	県内 720人
7:30	おもてなし 広場	宿泊施設 ↓ 到着	指定集合地等	指定集合地等	指定集合地等	指定集合地等
			順次到着・入場チェック			
			記念植樹・緑化行事			
			おもてなし広場自由見学等			
			招待者完全着席			
9:45	完全着席					
10:30	プロローグ	会場出発	プロローグ			
			式典			
11:30	エピローグ		エピローグ			
12:00	おもてなし 広場	駅・空港等	おもてなし広場自由見学等			
			順次会場出発			
			駅・空港等	指定解散地	駅・空港等	指定解散地

※ 式典行事の開始時間や招待者の行動計画は変更となる場合があります。

■ 受付計画

調整中

項 目	内 容
受付内容	- 指定場所において、前日又は当日に受付を行います。 - 円滑な受付や記念品等の配布が行えるよう、関係者と連携を図ります。
招待者に配布する記念品等	- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、高知県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品などを配付します。 - 高知らしい県産品の活用を図るとともに、環境に配慮したものとし、遠方からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。 - 式典の円滑な運営のため、IDカード等を配付します。

■ 特別接伴計画

調整中

特別接伴が必要となる招待者には、実施本部員が次の対応を行います。

項 目	内 容
中央 特別招待者	・ 移動は、原則として借上車等の乗用車を使用します。 ・ 式典当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。 ・ 行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。
特別招待者	・ 移動は、原則としてバスを使用します。 ・ 式典当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。 ・ 行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。

■ 作品御覧計画

調整中

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

作品御覧概要	
【主 催】	(公社) 国土緑化推進機構、高知県
【開 催 日】	全国植樹祭開催の前日
【出 席 者】	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者、 第78回全国植樹祭大会ポスター原画作者

■ 御懇談計画

調整中

天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場とします。

御懇談概要	
【主 催】	高知県
【開 催 日】	全国植樹祭開催の前日
【出 席 者】	緑化功労者 等

■ 会場おもてなし計画

調整中

項 目	内 容
おもてなし広場の設置	・ 総合案内所や湯茶接待所、仮設トイレ等を配置します。 ・ 高知の森林・林業などの各種展示コーナーや観光案内、地場産物等を取りそろえた特産品・飲食物提供ブース等を関係団体の協力により設置・運営します。 ・ 出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努めます。

■ 医療・衛生計画

調整中

項 目	内 容
救護所の設置	・ 式典会場に救護所を設置し、応急処置セットや休憩用ベッド等を備えます。 ・ 緊急時の搬送・受入体制を整えます。
熱中症対策	・ 場内放送でこまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意を促します。 ・ 救護所には、経口補水液を備えるなど、適切な処置を行える体制を整備します。
衛生対策	・ 保健所等の協力を得て、衛生対策体制を整備します。 ・ 宿泊施設や会場内の食品提供施設などへの指導を徹底します。 ・ 廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

■ 消防・防災・警備計画

調整中

項 目	内 容
消防・防災	・ 異常の早期発見、通報に努めます。 ・ 会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。 ・ おもてなし広場やサテライト会場の火気使用についても管理を徹底します。
避難計画	・ 避難計画を策定の上、招待者全員が安全に避難できる体制を整備します。 ・ 地震発生時には、地震の規模や津波発生状況等に応じて、会場となる春野総合運動公園指定の避難所へ参加者を安全に誘導します。
警備	・ 警察等の関係機関と協力して警備を実施します。 ・ 実施本部員等を配置して、警備や招待者の誘導を行います。 ・ 入場者のIDカード確認や金属探知機による持ち物検査を行います。 ・ 式典会場、植樹会場、駐車場等では、夜間も含め、監視・巡回警備などを行います。

調整中

式典当日は、宿泊招待者は宿泊施設から、その他の招待者（主に県内招待者）は県内各地に指定する集合地から、原則として実行委員会が手配するバス等により式典会場等へ移動することとします。

項 目	内 容
宿泊計画	・ 式典会場へのアクセス、計画輸送バスの乗降場所の確保などを総合的に勘案し、適切な宿泊地域や宿泊施設を選定します。
輸送計画	・ 招待者区分ごとに輸送計画を作成し、環境負荷の軽減につながる最適な輸送手段を選択します。 ・ 交通事業者や関係機関と協議・検討の上、招待者の安全で円滑な輸送を確保した運行ルートを設定します。 ・ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、できるだけ最短の移動時間となるルートを設定します。 ・ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

第78回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森林環境保全や木材利用の必要性について、県民の皆さまに広く啓発するため、記念事業等を実施します。

■ 記念事業

調整中

項 目	内 容
第78回全国植樹祭1年前 記念イベント	開催1年前の時期に、記念イベントを開催します。 【開催日】 令和9年（2027年） 【開催地】 未定
カウントダウンイベント	開催200日前などの節目の日（令和9年度中（2027年度中））に カウントダウンイベントを開催します。
苗木のスクールステイ	全国植樹祭や関連する植樹行事等で使用する苗木を、県内の保育 所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・特別支援学校・緑の少年 団の協力により育成します。
「木製地球儀」巡回展示	大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。
記録誌の発行、 記録映像の作成	式典行事や植樹行事、各種記念事業などの取組を、記録誌や記録映 像等にまとめ、関係機関等に配布します。
地域植樹（再掲）	令和9年度（2027年度）に県民参加による植樹（地域植樹）を県 内6カ所で行います。

■ 関連事業

調整中

項 目	内 容
第56回全国林業後継者大会	全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要 性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続 けられる林業の魅力を全国に発信することを目的に開催します。 【時 期】 令和10年（2028年）春季（第78回全国植樹祭の前日） 【場 所】 未定 【内 容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等
こどもの森づくりフォーラムin高知	全国植樹祭の開催を契機に幼児期からみどりに親しむための取組の普 及、促進等を図るため、保育・幼児教育関係者等を対象にフォーラム 等を実施します。 【時 期】 令和8年（2026年）9月13日(日) 【場 所】 新来島高知重工ホール（高知県立県民文化ホール） グリーンホール 【内 容】 基調講演、事例発表、パネルディスカッション等

広報宣伝や協賛募集の活動を通じて、大会の開催意義、開催理念及び内容、大会に向けた様々な取組等について広くPRするなど、開催への機運を高めていきます。

■ 広報計画

調整中

項 目	内 容
インターネット・SNSの活用	公式ホームページ及び公式SNSにて、様々な取組や関連イベント等に関する情報を発信します。
公共広報等の活用	県及び各市町村の広報や広報番組等を活用し、情報提供とPR活動を実施します。
マスメディアの活用	全国植樹祭や関連事業などに関する情報が広く発信されるよう、情報提供します。
企業・団体等との連携	シンボルマークやロゴマークの使用を広く呼びかけるなど、企業・団体等の支援や協力による広報活動を通じ、大会開催の周知を図ります。 また、企業・団体等と連携したイベントを通じて、来場者に向けてPR活動を実施します。
全国植樹祭情報誌等の発行	「第78回全国植樹祭だより」を発行し、大会に向けた取組状況や県民参加の森林づくり活動等に関する情報を発信します。
PRグッズの作成・配布等	PRグッズを作成し、各種イベントなどで配布することで全国植樹祭の周知と機運の醸成を図ります。

■ 協賛計画

調整中

項 目	内 容
資金協賛	全国植樹祭や各種記念事業等の開催に関わる資金協力を募ります。
物品協賛	全国植樹祭や各種記念事業等の開催に関わる物品協力を募ります。
その他の協賛	機器等の貸与や役務提供、広報活動等による協力を募ります。



第78回全国植樹祭 基本計画（中間案） ＜概要版＞

令和8年7月

第78回全国植樹祭高知県実行委員会事務局
(高知県林業振興・環境部林業環境政策課全国植樹祭推進室)

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目3番30号 四国森林管理局2階
電話番号：088-821-4587 ファクス番号：088-802-5542
ホームページ：<https://syokujusai-kochi2028.pref.kochi.lg.jp/>
又は「第78回全国植樹祭」で検索してください